

令和8年度 宮城県建設センター研修 「土質設計研修<LIVE 併用型>」 実施要領

令和 8年 3月27日現在

1 研修目的

土質調査の基本や設計に必要な地盤定数の考え方、施工管理・品質管理の手法並びに数量算出や積算の留意点について理解を深め、土質調査に関する基礎的な知識と技術を習得し、行政機関の土木技術職員としての業務遂行能力の向上を図ることを目的とする。

2 主催 公益社団法人宮城県建設センター

3 対象者

県及び市町村の土木関係部署に所属する実務経験の浅い職員並びに若手職員を指導する中堅職員

4 募集定員

【集合型（会場で受講）】：50名程度（県、市町村等）

【LIVE型（Zoom Meetingsで受講）】：制限なし

※集合型の希望者が定員を超過した場合は人数調整を行うため、複数名で申し込む際は必ず優先順位を記入すること。集合型の希望者が多いときは、LIVE型での受講を併用すること。

5 研修日程

令和8年5月12日（火） 9時30分から 16時45分まで

6 研修場所（集合型またはLIVE型のいずれかを選択すること）

【集合型】：TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口／カンファレンスルーム8C

（仙台市青葉区花京院一丁目2-15 ソラプラザ 8階）別紙 地図参照

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-sendai-nishiguchi/access/>

【LIVE型】Web 会議室環境は各所属において準備すること。

本研修は、会場での講義をLIVE配信するものであるため、LIVE型で受講する場合は「Zoom Meetings」に参加可能な環境を事前に整備すること。

また、音声環境（マイク・スピーカー・カメラ等）及び通信量（目安：1時間当たり、約1GB）についても、事前に各所属において確認すること。

なお、研修当日の招待 URL 等は、受講決定後に「招待 URL 等送付先」へ送付する。

7 研修内容 別紙-1「カリキュラム」のとおり

8 申込先及び問合せ先 公益社団法人宮城県建設センター 総務企画部 総務課 企画研修班

（TEL：022-263-1432）

<申込み方法> 申込方法は、『[研修会申込情報管理システム](#)』のみとする。（別紙 参照）

各団体において取りまとめの上、当センターホームページ（<https://www.m-ctc.com/>）からアクセスし、申込担当者及び連絡先を入力の上、申込書（Excel ファイル）を添付して申込むこと。

※開催日の3日前になっても受講決定通知が届かない場合は、上記担当まで連絡すること。

9 申込締切日 令和8年4月27日（月）13時必着

10 研修受講料 無料 ※研修に要する旅費は、各所属において負担すること。

11 準備するもの ・筆記用具、テキスト（集合型・LIVE型共通）

※テキストは令和8年5月7日（木）を目処に申込担当者へメール等で配付するため、各自印刷の上、持参（準備）すること。【集合型】ネームプレート 【LIVE型】受講環境

1 2 その他

本研修は、令和7年度と同じ内容で実施するため、昨年度受講者は留意すること。

【集合型】

- (1) 開始15分前までには集合し、受付を済ませること。
- (2) 研修にふさわしい服装で受講すること。
- (3) 欠席・遅刻の場合は、事前に下記へ連絡すること。
(公社)宮城県建設センター総務企画部 総務課 (TEL:022-263-1432)
※仙台市は、技術管理室にも連絡すること。

【LIVE型】

- (1) 開始5分前までに入室し、マイク・カメラがオフであることを確認すること。
- (2) 講義途中で入室する場合も同様に、マイク・カメラがオフであることを確認すること。
- (3) 申込者以外の方が参加した場合は、研修実績を別途報告すること。

<注意>

LIVE 受講の際は、マイクをオフに設定してください。マイクがオンの状態になると、司会や講師の音声と干渉し、進行に支障が生じるおそれがあります。

また、受講者の表示名は、所属及び氏名が分かるように設定してください。

(例) 所属で複数名受講の場合：「●●事務所・道路管理班」「●●市●●部●●課」など
個人で単独受講の場合：「●●事務所・宮城太郎」「●●町●●課・都市健太」など

◆受講された方々の声

- ・現在担当している業務で土質調査を扱っており、内容が実務に直結していて大変参考となった。
- ・土質に関する基礎的な知識から数量算出・積算まで幅広く学ぶことができ、今後の業務に活かせると感じた。
- ・構造物は地盤の上に築造されるものであり、土質の重要性について改めて理解を深めることができた。
- ・過去に受講した内容の復習となり、知識の再確認及び理解度の向上につながった。
- ・配付テキストの内容が整理されており、今後の業務において参考資料として活用できると感じた。

< 申込み方法・詳細 > 申込みは、『研修会申込情報管理システム』のみとする。

各団体において取りまとめの上、当センターホームページ (<https://www.m-ctc.com/>) からアクセスし、申込担当者及び連絡先を入力の上、申込書 (Excel ファイル) を添付して申込みこと。

※開催日の3日前になっても受講決定通知が届かない場合は、上記担当まで連絡すること。

【申込時の注意事項】

- ① 「市町村コード等」欄には、「削除不可シート」に記載されているコードを入力すること。入力すると、市町村名が自動で表示される。
- ② 研修受講者は、組織順及び役職順に入力すること。
- ③ 受講形式は選択可能のため、ドロップダウンリストから選択すること。
- ④ 「集合型」の受講希望者が複数いる場合は、人数調整を行うため、優先順位を記載すること。

| 標記研修の受講希望者については、下記のとおり申し込みいたします。 | | | | | | | 複数名を申込み場合、必ず入れてください | | | |
|----------------------------------|---------|------|------|-------|------|-------|--------------------------------|------|-----------------------|----|
| NO. | 市町村コード等 | 市町村名 | 所属部名 | 所属課名 | 職名 | 氏名 | ○(集合型) ■(LIVE型) -(受講しない) | 優先順位 | 招待URL等送付先アドレス | 備考 |
| 記載例 | 202 | 石巻市 | 建設部 | 都市計画課 | 技師 | ○× ○男 | ○(集合型) | 1 | | |
| | 301 | 蔵王町 | | 建設課 | 技術主査 | ○× ○男 | ■(LIVE型) | | ○×@town.zao.miyagi.jp | |
| 1 | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | |

こちらから市町村名を必ず選択してください

申込書ファイルを添付(Excel)して申込み

例) 受講希望を取りまとめ、下記に必要事項記入し、『参照表様』に取りまとめのファイルを添付の上、申込みをしてください。

↑ Excel 申込書のイメージ画像

(別紙-1)

令和8年度 宮城県建設センター研修 「土質設計研修<LIVE併用型>」

カリキュラム

令和8年3月27日現在

研修日： 令和8年5月12日(火)

研修場所： TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口
カンファレンスルーム8C

| 時間 | 科目 | 講師 | 備考 |
|---------------|--|----------------------|------|
| 9:15 ~ 9:30 | 会場受付/WEB入室可能時間 | 公益社団法人宮城県建設センター | 0:15 |
| 9:30 ~ 9:35 | オリエンテーション | | 0:05 |
| 9:35 ~ 9:40 | あいさつ | 公益社団法人宮城県建設センター | 0:05 |
| 9:40 ~ 10:55 | 土質調査の基本 ・土質調査の必要性 ・土質調査の基本的事項 ・土質調査の目的 ・代表的な土質調査手法の紹介 ・成果の見方、チェックポイント | (一社) 建設コンサルタンツ協会東北支部 | 1:15 |
| 10:55 ~ 11:00 | 休憩 | | 0:05 |
| 11:00 ~ 12:00 | 設計に必要な地盤定数 ・地盤を見るポイント ・建設工事におけるトラブル事例 ・対象とする建設構造物別の必要な地盤定数 ・必要となる調査・試験項目と定数設定次の留意点 | (一社) 建設コンサルタンツ協会東北支部 | 1:00 |
| 12:00 ~ 13:00 | 休憩 | | 1:00 |
| 13:00 ~ 14:00 | 施工管理・品質管理手法 ・平板載荷試験(地盤支持力の評価) ・室内・現場C B R 試験 ・スクリーウエイト貫入試験(宅地地盤の評価) ・盛土の品質管理法と基準値 ・盛土の動態観測 等 ・N値に代わる試験の紹介 ・その他(災害事例から学ぶ 等) | (一社) 東北地質調査業協会 | 1:00 |
| 14:00 ~ 14:50 | 数量算出・積算の留意点 ・ボーリング調査の数量算出 ・室内土質試験の数量算出 ・原位置試験(弾性波探査等)の数量算出 ・解析等調査業務費用の積算 ・ボーリング数量積算例 | | 0:50 |
| 14:50 ~ 15:20 | 新技術の紹介 ・平板載荷試験に代わる試験 ・孔内水平載荷試験に代わる試験 ・T S・G N S Sを用いた締固め管理技術 ・D Xへの取組み (3次元・画像処理・データ通信等技術) | 適宜、休憩を入れます | 0:30 |
| 15:20 ~ 16:35 | 演習及び解説 ・午後の講義についての演習と解説 ※1~※3 | | 1:15 |
| 16:35 ~ 16:45 | 閉講(アンケート記入等) | | 0:10 |

※カリキュラムは都合により変更することがあります。

【研修場所】

TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口／カンファレンスルーム 8 C

住所：仙台市青葉区花京院一丁目2-15 ソラプラザ 8階

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-sendai-nishiguchi/access/>



JR 東北本線 仙台駅 西口 徒歩 3 分

仙台市地下鉄南北線 仙台駅 北 8 出口 徒歩 3 分

↑ 上記 HP アクセスからの抜粋

なお、当日の欠席等については、必ず下記へ連絡してください。

(公社) 宮城県建設センター総務企画部 総務課 (TEL:022-263-1432)

※仙台市は、技術管理室にも連絡すること。

公共交通機関でのご来場にご協力願います。